

京都第二赤十字病院職員における 新型コロナウイルス感染者の発生について (第3報)

令和2年8月7日

京都第二赤十字病院長 小林 裕

7月30日に当院看護師1名が、新型コロナウイルスに感染していることが判明したことに関連し、当該看護師および接触者に対し、詳細な調査を施行してまいりました。今日までに軽度な接触者にも対象を拡大して、計40名の職員と、9名の患者さんに対しPCR検査を施行しましたが、いずれも陰性を確認いたしました。今後も、対象者には慎重な健康観察を進めてまいります。

引き続き、通常通り、感染予防対策に万全を期しながら診療を継続してまいります。

接触者の健康観察が終了した時点で、追ってこのホームページでご報告いたします。